

電気製品からの出火に注意してください！

当消防組合の管内では、今年に入り16件の火災が発生しており、なかでも住宅等の建物火災が13件となっています。また、ここ最近では電気が原因と思われる火災が増加傾向にあり、気づかないうちに出火してしまうというケースがあります。

近畿地方もようやく梅雨入りし、この先、湿度が高く、気温も上昇することから、エアコンや扇風機を使う機会が増えてきます。

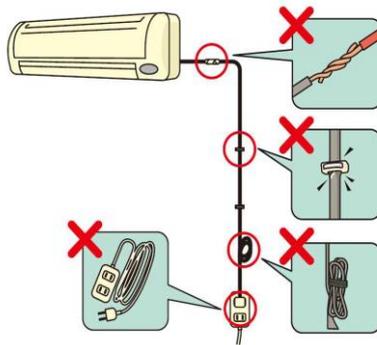
エアコンの電源コードの途中接続による事故や古い扇風機の部品が劣化して発火する事故が毎年のように発生しています。使用を開始する前に製品に異常がないかを確認するとともに、コンセントやコードの状況についても確認し、事故を未然に防ぎましょう。

また、リコール対象製品による事故も発生しているため、お持ちの製品がリコール対象であるかを確認してください。

【事故防止のために】

◆電源コード類を改造、不適切な修理・加工しないでください。

ねじり接続によって他のコードと途中接続するなど改造や不適切な修理・加工等を行うと、接続不良が生じて発煙・発火するおそれがあります。



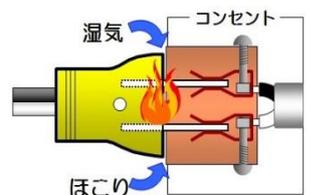
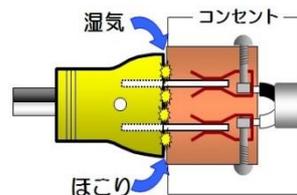
【このような症状には注意してください。】

- ① スイッチを入れても、ファンが回らない。
- ② ファンが回っても、回転が異常に遅かったり不規則である。
- ③ ファンが回転するときに異常な音や振動がする。
- ④ モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- ⑤ 電源コードが折れ曲がったり破損したりしている。



【トラッキング現象】

コンセントに差し込んだプラグの周辺に綿ぼこりや湿気などが付着することにより、差し込みプラグの刃の間に電流が流れ、火花放電を繰り返すことで、炭化して出火する現象です。



使用する時は、適切な取扱いをしましょう！

【製品火災等に関する情報サイト(nite)】

<https://www.nite.go.jp/index.html>

